

事業の基礎情報

事業実施地域	滋賀県甲賀市
人材育成の対象	地方公共団体（甲賀市）の職員 10名ほど
人材育成の手法	基礎編の講義、ダッシュボードを活用した実践型の分析、及びワークショップ（複数回実施）
人材育成の内容	甲賀市の人流を実際に分析・可視化し、人流データの読み解き方及び交通をはじめとしたまちづくりに関する課題解決に向けた施策検討方法の習得を図る。
想定育成人数	10名

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

今回対象とする甲賀市市域においては、市民にとって重要な公共交通である草津線が減便し、地域公共交通の維持等が課題となっている。地域の地域交通に関わる課題の解決に向け、近年人流データの利活用が注目され、いくつかの地域における活用事例が出てきているものの、地方公共団体職員等がデータを読み解き、課題解決に向けた活用を進められる状況になっていない。そこで、本事業では、京都・滋賀県域において各自治体と連携して地域社会の課題の解決に取り組む龍谷大学が地域のハブとなり、交通をはじめとしたまちづくりの解決に向けた人流データの読み解き、及び課題解決に向けた施策設計に関する人材育成を行うことを目的とする。

（事業の概要）

交通課題の解決や地域脱炭素の推進に向けた人流データ利活用という分野において、地方公共団体（甲賀市）の職員を対象として、基礎理解を深める講義及び実践的に手法を学ぶワークショップを複数回実施。

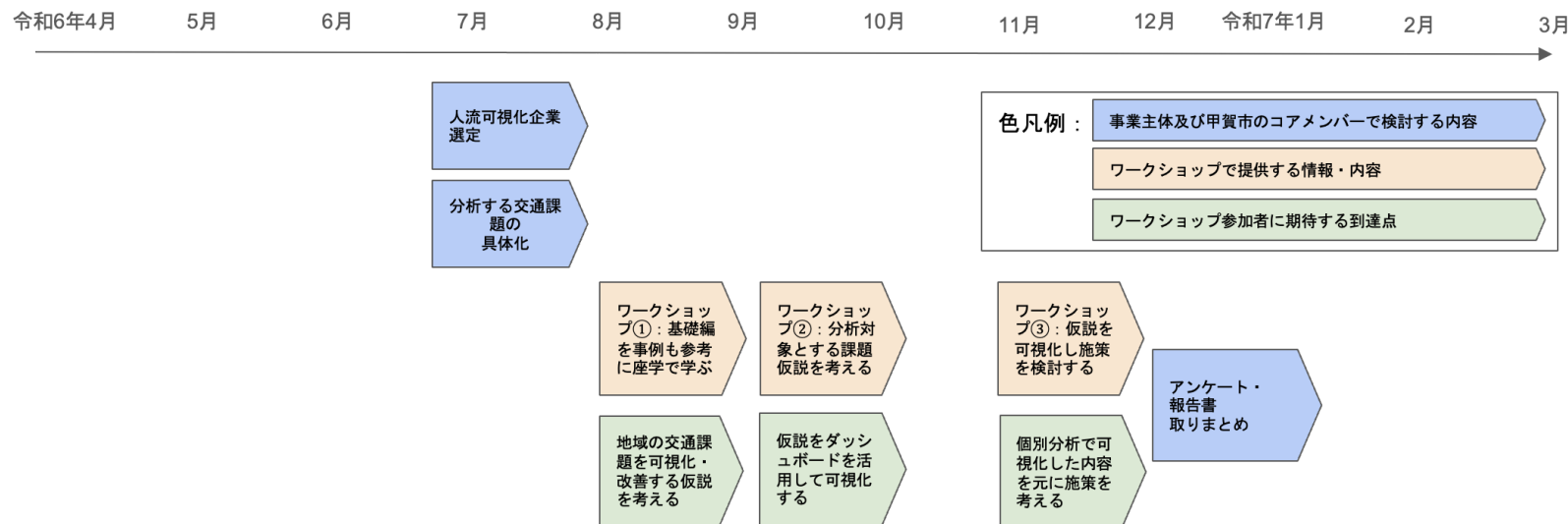
ワークショップでは、甲賀市の人流を実際にダッシュボード等も活用して参加者が自ら分析・可視化し、その結果を講師と育成対象となる参加者が一緒に参照・検討することで、データの読み解き～施策検討までのプロセスを体験できる内容とする。これにより、人流データの読み解き方及び交通に関する課題解決に向けた施策設計方法の習得を図る。

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

自治体職員及び交通事業者のデータ利活用に向けて、交通課題を可視化するためのデータ利活用リテラシーが向上することにより、具体的な施策検討に結びつくことが見込まれる。また、自治体と交通事業者が横断的に交流できる機会を創造することも今後の施策実施へつながるきっかけになると考えられる。

(事業実施手順・スケジュール)



(補助事業実施後の予定)

滋賀県下の基礎自治体での実施を見据え、龍谷大学を中心として人流データを活用したまちづくりの推進体制について検討予定。